

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種 目	学年
104-30	高等学校	商業科	ネットワーク活用	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
190東法	商業750	ネットワーク活用		

1. 編修の基本方針

編修にさいしては、教育基本法に定める「第一章 教育の目的及び理念」を参照し、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う教育を推進することを基本方針として、本文の著述を心がけた（教育基本法第二条）。

● ネットワークを活用して課題を解決する力を身に付けられる教科書

インターネットをはじめとしたネットワークが広く普及している今日においては、ビジネスについて考えるうえでネットワーク活用は不可欠となっている。本教科書では、ネットワーク活用によってさまざまな課題を解決するために必要な力を身に付けられるようにすることを目指した。

● 普遍的な考え方を学習できるようにする

情報通信技術は日進月歩の勢いで進化を続けているため、学習者が本科目を学習している時点での最新の具体例について学ぶだけでは、将来にわたって環境が変化したときに学んだことを応用することが難しい。そのため、本教科書では例題などで普遍性の高い問いを示すことにより、学習内容に応用性を持たせるよう工夫している。

● 例題を通してスモールステップで学習を進められるようにする

各項目の切り替わりごとに例題を設定し、その問いに対する考え方を解説することにより、学習者が目的意識を持って学習できるように配慮している。

● 「ビジネスの創造」につなげる

最終章として「ビジネスの創造」という章を設定した。この章では、ここまでに学習した内容を踏まえて「ビジネスプラン事業計画書」に書き込みをすることで、ネットワークを活用したビジネスの創造に挑戦できるようになっている。「ビジネスプラン事業計画書」の作成に挑戦することで、学習者はこれまでの学習内容を復習し、その内容を活用したアクティブ・ラーニングに取り組むことができる。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第1章 情報技術の進歩とビジネス	<ul style="list-style-type: none"> ● ネットワークを活用して情報を関係者同士で共有し、ともにビジネスを行うことの意義について説明している。(第三号) ● 個人情報や知的財産を保護することの必要性について説明し、ルールを守ってビジネスを行うことの重要性を理解できるようにしている。(第二号) ● 各種法規やガイドラインを遵守することの必要性について説明し、ルールを守ってビジネスを行うことの重要性を理解できるようにしている。(第二号) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 4頁 ● 8頁 ● 21頁
第2章 インターネットと情報セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報セキュリティポリシーを企業の経営陣が設定し、構成員と理念を共有することの重要性について説明している。(第二号) ● 個人情報の取得に際して、本人に配慮することの必要性を示している。(第三号) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 62頁 ● 63頁
第3章 インターネットで情報を表現する手段	<ul style="list-style-type: none"> ● 画像を利用する際には、各種権利に配慮することが重要であると示している。(第二号) ● 動画を作成する目的を設定したうえで、企画・撮影・編集・配信を実際に行う例題を通して、学習者が主体的に動画の活用方法を検討できるようにしている。(第一号) ● 動画の視聴者のことを考えて編集を行うことの重要性を示している。(第三号) ● 動画を利用する際には、各種権利に配慮することが重要であると示している。(第二号) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 81頁 ● 96頁 ● 99頁 ● 99頁
第4章 インターネットの活用	<ul style="list-style-type: none"> ● ウェブページのユーザビリティについて説明することで、利用者のことを考えてウェブページを制作できるようにしている。(第三号) ● ウェブページのアクセシビリティについて説明することで、利用者のことを考えてウェブページを制作できるようにしている。(第三号) ● HTMLのタグや属性の意味を説 	<ul style="list-style-type: none"> ● 105頁 ● 106頁 ● 159頁

	<p>明することによって、興味を持ってHTMLの学習ができるように配慮している。(第一号)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●越境ECに触れることにより、他国のインターネットユーザとも電子商取引を行えることを示している。(第五号) ●さまざまな利用者の立場を想定して電子決済を導入することの重要性を説明している。(第二号) 	<ul style="list-style-type: none"> ●160頁 ●165頁
第5章 ビジネスの創造	<ul style="list-style-type: none"> ●新事業を創出することの重要性について、労働力人口の減少や地方経済の疲弊など、具体的な課題をもとに提示して、学習意欲を喚起している。(第一号) ●これまでの学習を踏まえ、ネットワーク活用によって課題を解決する方法を学習者が実際に考えられるように課題設定し、学習意欲を喚起している。(第一号) ●ビジネスプランの効果の一例として、資源の有効活用を示し、ICTによって資源の有効活用が可能であることに触れている。(第四号) 	<ul style="list-style-type: none"> ●184頁 ●184-189頁 ●190頁

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

口絵は学習者の興味を引き出すとともに、本文の補足的な内容になるよう配慮し、「実務に即して体系的・系統的に理解」できるようにした。

口絵①・②には、この教科書で学習する内容を総覧できるような図を掲載した。教科書全体の学習内容を確認し、各章の学習に対する意欲を高められるようにしている。

口絵③には、第2章の補助資料として OSI 参照モデルや情報セキュリティのまとめを掲載した。

口絵④には、第3章の補助資料として画像や動画に関する計算方法のまとめを掲載した。

口絵⑤・⑥には、第4章の補助資料として HTML タグと CSS プロパティのまとめを掲載した。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種 目	学年
104-30	高等学校	商業科	ネットワーク活用	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
190東法	商業750	ネットワーク活用		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

- 本教科書においては、ネットワーク活用のために必要な知識や技術を身に付けられるようにしている。しかし、単にそれらの知識や技術を身に付けることだけを目的とするのではなく、なぜそのような知識や技術が必要なのかということについて考えさせるようにすることで、より大きな目的意識を持って学習ができるように配慮している。
- 画面キャプチャやグラフ、関連する画像などを多く掲載することにより、理解の促進を図っている。
- 一定の項目ごとに「例題」を示し、学習者が学習目的を意識しやすいようにしている。
- ソフトウェア操作が関連する部分については、「手順」として画面キャプチャやスモールステップでの操作解説を掲載し、学習者が混乱しづらいようにしている。
- 本文中の略語については、原語を併記することにより、理解の促進を図っている。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領 の内容	該当箇所	配当 時数
第1章 情報技術の進歩とビジネス	(1)情報技術の進歩 とビジネス	2-26頁	10
第1節 ビジネスの変化	ア ビジネスの変化		
1 情報技術の進歩とビジネスの形態の変化	イ 個人情報と知的		
2 ネットワークによるビジネスの変化	財産の保護		
3 ネットワークをビジネスに活用することの 重要性	ウ 関係法規とガイ		
第2節 個人情報と知的財産の保護	ドライン		
1 個人情報の保護			

2 知的財産の保護			
第3節 関係法規とガイドライン			
1 ネットワーク活用におけるルールの必要性			
2 インターネットを活用したビジネスに関する法規			
3 関連団体のガイドライン			
4 関係法規・ガイドラインの遵守・活用			
第2章 インターネットと情報セキュリティ	(2)インターネット	28-68頁	14
第1節 インターネットの仕組み	と情報セキュリティ		
1 インターネットの概要	ア インターネット		
2 ビジネスにおいてインターネットを活用する利点	の仕組み		
3 インターネットサービスプロバイダの役割と業務	イ ハードウェアと ソフトウェアの導入		
第2節 ハードウェアとソフトウェアの導入	ウ 情報セキュリティの確保		
1 インターネットを活用するためのハードウェア			
2 インターネットを活用するためのソフトウェア			
3 コンピュータをインターネットに接続する手続きと方法			
第3節 情報セキュリティの確保			
1 情報セキュリティの概要			
2 情報セキュリティの確保			

3 企業における情報セキュリティマネジメント				
第3章 インターネットでの情報を表現する手段	(3)情報コンテンツの制作	70-100頁	12	
第1節 図形と静止画				
1 ネットワーク活用と画像				ア 図形と静止画
2 コンピュータで表現する画像の基礎知識				イ 動画と音声
3 画像素材の入手				
4 画像のアップロードとダウンロード				
第2節 動画の活用				
1 ネットワーク活用と動画				
2 コンピュータで表現する音声の基礎知識				
3 コンピュータで表現する映像の基礎知識				
4 コンピュータで表現する動画の基礎知識				
第4章 インターネットの活用	(4)インターネットの活用	102-178頁	28	
第1節 ウェブページの制作とデザイン				
1 ウェブページ制作の全体像				ア ウェブページの制作とデザイン
2 ウェブページの企画				イ 企業情報の発信
3 ウェブページの設計				ウ 電子商取引と電子決済
4 ウェブページの制作と公開				
5 アクセス数を増加させるための工夫とアクセス解析				
第2節 ウェブページの制作				
1 HTMLを利用したウェブページの制作				
2 CSSを利用したウェブページのレイアウト				

の調整			
3 ウェブサイトのアップロードに向けて			
4 JavaScript			
第3節 電子商取引と電子決済			
1 電子商取引			
2 電子決済			
3 電子商取引をおこなうためのウェブページの制作			
第5章 ビジネスの創造	(4)インターネット	180-194頁	6
第1節 インターネットを活用したビジネス	の活用		
1 インターネットを活用したビジネス	エ ビジネスの創造		
2 インターネットを活用した顧客接点の強化			
3 インターネットを活用したビジネスの実例			
第2節 ビジネスプランの考案			
1 新事業を創出することの重要性			
2 「ネットワーク活用によって課題を解決する」ためのアイデア			
3 環境の分析			
4 STP分析			
5 4P戦略			
6 資金計画と3年後の見通し（発展的な学習）			
		計	70